「た」で始まる語彙辞典（マイナー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「た」で始まる語彙辞典（マイナー） 4

おわりに 9

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「た」で始まる語彙辞典（マイナー）

たい - いき【帯域】
一帯。地帯。「周波数―」

たい - えつ【大悦】
大きな喜び。大喜び。「―至極に存じます」

大海（たいかい）は芥（あくた）を択（えら）ばず
広い海はどんなごみでも受け入れる。度量が広く、よく人を受けいれることのたとえ。大海は塵（ちり）を択ばず。

たいかん - ちあん【体感治安】
統計に表されたものではなく、人々が日常生活の中で感じる治安の状況。「―が悪化する」

大魚（たいぎょ）を逸（いっ）◦する
大きな手柄を立てそこなう。また、大きな利益を手にしそこなう。

たい - くん【帯勲】
勲章を身につけること。勲章を有していること。「―者」

たい - けい【大慶】
大きなよろこび。この上なくめでたいこと。「―至極に存じます」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

大巧(たいこう)は拙(せつ)なるが如(ごと)し
《「老子」45 章から》
真の名人は小手先を使ってよく見せようとはしないから、一見つたないように見える。

大行(たいこう)は細瑾(さいきん)を顧みず
《「史記」項羽本紀から》
大事業を成就しようとする者は、ささいなことにはこだわらない。

太鼓(たいこ)も撥(ばち)の当たりよう
たたき方しだいで太鼓の音が大きくもなり小さくもなるということ。やり方しだいで人の応じ方も変わることのたとえ。

大山(たいざん)鳴動(めいどう)して鼠(ねずみ)一匹(いっぴき)
事前の騒ぎばかりが大きくて、実際の結果が小さいこと。

大山(たいざん)も蟻穴(ぎけつ)より崩る
大きな山も小さな蟻(あり)の穴からしだいに崩れる。ちょっとした油断がもとになって大きな災難を招くことのたとえ。

たい - せき【対席】
［名］(スル)
① 席が向かい合うこと。また、席を向かい合わせにすること。
② 両者が同一の会合に出席すること。「東西の両首脳が―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たい - とう【駘蕩】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① さえぎるものなどがなく、のびのびとしているさま。
② 春の情景などが、平穏でのんびりとしているさま。「―たる春光」「春風―」

たい - どく【体読】
文字面に表れた意味だけでなく、その奥にある真意を読み取ること。⇔色読（しきどく）。

大木（たいぼく）は風に折られる
大木は風当たりが強く折られやすい。高い地位にいる人は、他人からねたみや非難を受けやすいことのたとえ。

大欲（たいよく）は無欲に似たり
① 大望を抱く者は、小さな利益などを顧みないから、一見無欲のように見える。
② 欲の深い者は、欲のために目がくらんで損を招きやすく、結局無欲と同じ結果になる。

たい - りょう【退寮】
［名］（スル）
寮生活をやめて、寮から出ること。「結婚して―する」⇔入寮。

たき - し・める【焚き染める】
［動マ下一］［文］たきし・む［マ下二］
香をたいて衣服などに染み込ませる。「香を着物に―・める」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たき‐ぼうよう【多岐亡羊】
《枝道が多すぎて逃げた羊を見失ってしまったという「列子」説符の故事から》
学問をする者が枝葉末節にとらわれると、本質を見失うこと。また、学問の道が多方面に分かれすぎると真理を求めにくくなること。方針が多すぎて、どれをとるべきかに迷うことのたとえ。亡羊の嘆。

たきょく‐か【多極化】
［名］(スル)
一つにまとまっていた勢力が、分散して互いに対立・拮抗(きっこう)し合うようになること。

たく‐せん【託宣】
［名］(スル)
神仏が人にのりうつったり夢の中に現れたりして、その意志を告げること。また、そのお告げ。神託。→御託宣(ごたくせん)

た‐しょ【他書】
ほかの書物。「―にない特色」

たじょう‐たこん【多情多恨】
［名・形動］
感じやすいために、うらんだり悔やんだりする気持ちの多いこと。また、そのさま。

叩(たた)けば埃(ほこり)が出る
どんなものでも細かく調べれば、欠点や弱点が見つかるものである。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

踏鞴(たたら)を踏(ふ)・む
① たたらを踏んで空気を送る。
② 勢いよく向かっていった的が外れて、から足を踏む。

たっ - こう【卓効】
薬などの、すぐれたききめ。「この温泉は皮膚病に―がある」

縦(たて)の物を横にもしない
めんどうくさがって、何もしないたとえ。横のものをたてにもしない。

たび - やつれ【旅窶れ】
［名］(スル)
旅の疲れからやつれてみえること。たびやせ。「―した顔」

戯(たわ)けを尽く・す
非常にばかげた言動をする。「若気の至りで―・す」

たん - ぜん【湛然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
水が十分にたたえられよどんでいるさま。また、静かで動かないさま。

たん - たん【潭潭】
［形動タリ］
水が深くたたえられているさま。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.